

第5回定例会開催

9月定例会は、9月3日から19日までの会期で開催されました。本会議では、平成19年度三芳町一般会計補正予算をはじめ、特別会計予算、条例の一部改正など9件の議案と、教育委員任命の同意1件、平成18年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、各特別会計、事業会計の決算認定6件が提案され、審議の結果、すべて原案通り可決されました。

●主な平成19年度補正予算の理由
補正額は
1億898万6千円

- ① 4月の人事異動に伴う、給与、職員手当の増減によるもの
- ② 防犯パトロール用車両（通称：青パト）購入費
- ③ 農事法人に対する県補助金
残留農薬の分析等のモデル事業
- ④ 県農地・水・環境保全向上対策
地域協議会負担金（竹間沢蚩育成、菜の花緑化等）
- ⑤ 富士塚地区土地区画整理測量委託料
- ⑥ 多目的広場整備工事費
- ⑦ 防犯ベルト用反射ベルト
- ⑧ 公民館AED設置
- ⑨ 体育施設備品購入・フットサル
- ⑩ 事故多発地域道路修繕工事 等

●平成18年度一般会計決算等概要

当町の財政状況は、町民税などの増加により税収の伸びがみられたものの依然として厳しい状況にあります。一般会計予算現額107億5281万円に対し、歳入決算額が112億3291万円（104.5%）、歳出決算額が105億6217万円（98.2%）で歳入歳出差引残額が6億7074万円となっています。

財政構造の主要指標は下記の表のとおりです。こうした情勢の中、税の収納率は昨年度に引き続き95%台の高収納率を維持できたこと、6年連続で不交付団体となったことは喜ばしく評価できることだと言えます。

今後の財政運営にあたっては、「最小の経費で最大の効果」を挙げるべく、町民のニーズを的確に把握し、財源確保に努め、各種施策の優先順

位について適切な選択を行い、効率的な事業の執行が求められます。

その意味で改めて議会の存在意義は大きく、これから、チエック機能から提案型に役割が変わっていくのではないかと思います。

区分	平成18年度	平成17年度	比較増減	平成17年度夕張市	コメント
自主財源比率	79.3%	71.1%	8.2	35.2%	町税の伸びと徴収率が高いことによる
経常収支比率	85.3%	86.5%	△1.2	125.6%	前年度より税収が伸びたことによる80%以下が適正、弾力性に欠く
公債費比率	9.7%	10.8%	△1.1	28.6%	17年度に高利率の町債の償還が終わったことによる、15%以上が危険
財政力指数	1.260	1.210	0.050	0.23	1.5くらいが理想

※破綻した夕張市と比較してみました。

セミナー開催のお知らせ

三芳の財布の中身を知ろう

「これならできる三芳の財政分析」

地方財政への関心が高まっていますが、なかなか取っつきにくいのが現状です。しかし三芳町が第2、第3の夕張市にならない為にも、私たち議員だけではなく、住民の皆様とともに財政を監視して行く必要があると思います。

そこで財政入門セミナーを開催することに致しました。参加ご希望の方は、私の後援会のFAXまたはメールに「セミナー希望」と明記して頂き住所、氏名、電話番号、出来ればメールアドレスをお知らせ下さい。

一、日時 11月17日（土）

午前10時～12時30分

（質疑応答含む）

一、場所 藤久保公民館 ホール

一、講師 大和田一紘氏

都留文科大講師、多摩
住民自治研究所副理事
長

一、資料代 100円

共催 議会会派「大空」ネット
ワーク三芳「ウイング」